

令和 4 年

火災・救急・救助統計

瀬戸市消防本部

火災

出火件数は23件で、昨年と比べ4件増加しました。

火災種別で見ると、建物火災が13件、車両火災が3件、その他火災が7件でした。

火災による死者は5人で、過去10年で最多となりました。また、負傷者数は4人で、全て建物火災による負傷者でした。

出火件数の23件を出火原因別で見ると、「放火・放火の疑い」及び「たばこ」が各2件(8.7%)、「ストーブ」「こんろ」「排気管」「電気機器」等が各1件(4.3%)の順となっています。

各連区の火災発生件数は、品野連区、新郷連区が各3件(13%)、效範連区、水野連区、下品野連区、本地連区、菱野連区が各2件(8.7%)、道泉連区、古瀬戸連区、陶原連区、水南連区、西陵連区、原山台連区、山口連区が各1件(4.3%)の順となっています。

火災の傾向としては、建物火災、車両火災が増加し、その他火災が減少しました。

1 月別火災発生状況

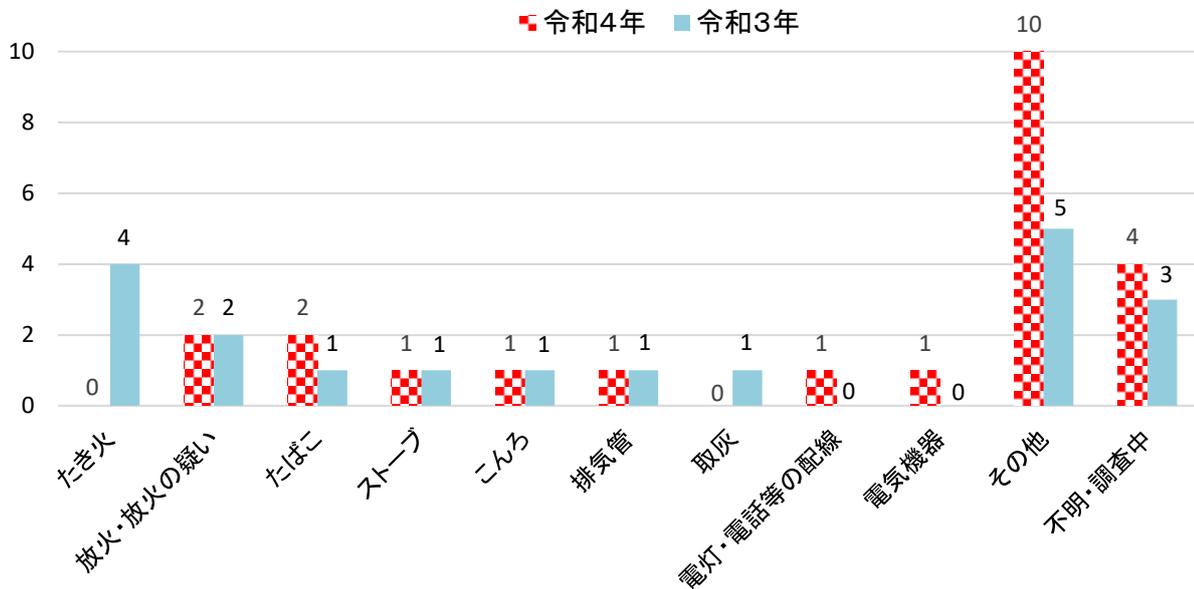
火災種別 月別	出火件数						焼損棟数	焼損面積		損害額 (千円)	死傷者(人)		
	計	建物	住宅	林野	車両	その他		建物(m ²)	林野(a)		死者	住宅	負傷者
1月	2	2	2	0	0	0	7	424	0	16,737	2	2	1
2月	2	1	1	0	0	1	6	125	0	7,538	2	2	0
3月	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
4月	2	1	1	0	0	1	1	0	0	11	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	3	1	0	0	1	1	3	150	0	4,296	0	0	0
7月	2	1	1	0	0	1	1	6	0	1,346	0	0	1
8月	1	1	1	0	0	0	5	115	0	7,206	1	1	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	5	3	1	0	0	2	3	0	0	109	0	0	0
11月	4	2	1	0	2	0	2	0	0	277	0	0	2
12月	1	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
合計	23	13	9	0	3	7	29	820	0	37,521	5	5	4
令和3年	19	7	4	1	0	11	7	8	2	1,291	0	0	4

※その他火災とは、建物・林野・車両・船舶及び航空機の各火災種別に該当しない火災

2 連区別火災発生状況

連区別 火災 種別	計	道 泉	深 川	古 瀬 戸	東 明	祖 母 懐	陶 原	長 根	效 範	水 南	水 野	西 陵	原 山 台	萩 山 台	八 幡 台	品 野	下 品 野	山 口	本 地	菱 野	新 郷
建 物	13	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	2	1	1	2	0	2
林 野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車 両	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	7	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1
合計	23	1	0	1	0	0	1	0	2	1	2	1	1	0	0	3	2	1	2	2	3

3 出火原因別火災発生状況



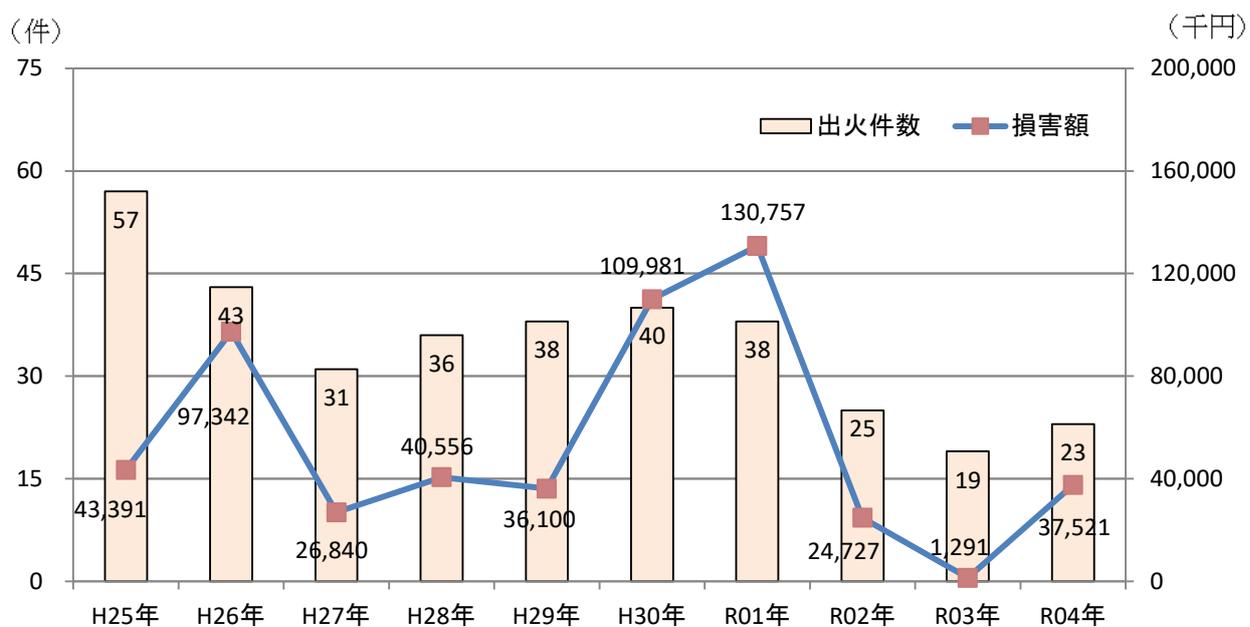
4 初期消火の実施状況

火災種別	区分	火災件数 (A)	初期消火 実施件数 (B)	初期消火の種類				実施率(%) (B)/(A)	令和3年 実施率
				消火器	水バケツ	水道水・ 汲み置き水等	その他		
建物火災		13	9	3	2	4	0	69.2	85.7
林野火災		0	0	0	0	0	0	-	100.0
車両火災		3	2	1	0	0	1	66.7	0.0
その他火災		7	4	1	0	2	1	57.1	63.6
合 計		23	15	5	2	6	2	65.2	73.7

5 過去10年間の火災の推移

火災種別 年 別	出 火 件 数						焼 損 面 積		死 傷 者 数(人)		損 害 額 (千円)
	計	建物	住宅	林野	車両	その他	建物 (m ²)	林野 (a)	死者	負傷者	
平成25年	57	21	13	9	4	23	498	79	1	8	43,391
平成26年	43	16	12	6	7	14	773	15	1	6	97,342
平成27年	31	15	8	2	2	12	334	47	1	6	26,840
平成28年	36	18	12	0	2	16	364	0	0	5	40,556
平成29年	38	20	15	2	3	13	433	3	0	4	36,100
平成30年	40	14	8	1	5	20	800	19	2	4	109,981
令和元年	38	20	9	0	3	15	1,230	0	0	9	130,757
令和2年	25	11	10	2	4	8	465	1	0	7	24,727
令和3年	19	7	4	1	0	11	8	2	0	4	1,291
令和4年	23	13	9	0	3	7	820	0	5	4	37,521

6 過去10年間の出火件数と損害額の推移



救急

救急出動件数は 6,216 件で、昨年と比べ 879 件増加しました。

救急出動件数のうち、事故種別で見ると、急病が 4,441 件（71.4%）、一般負傷が 898 件（14.4%）、交通事故が 334 件（5.4%）となっており、一月平均は約 518 件、一日平均は約 17 件でした。

救急搬送人員は 5,741 人で、そのうち死亡、重症及び中等症を合わせた傷病者の割合は全体の 42.7%、軽症の割合は 57.4%でした。

年齢区分別の搬送人員で見ると、高齢者が 3,771 人で全体の 65.7%でした。

また、高齢者の占める割合が、「急病」では 68.0%で、「一般負傷」では 77.5%でした。

1 月別救急発生状況

事故種別 月別	計	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他
1 月	506	1	0	0	25	6	1	78	0	3	368	18	6
2 月	464	0	0	0	22	2	0	73	2	3	341	17	4
3 月	470	0	0	0	26	3	0	61	1	3	347	21	8
4 月	440	0	0	0	24	6	2	58	1	3	314	26	6
5 月	518	0	0	0	29	7	7	85	3	3	348	27	9
6 月	519	0	0	0	31	6	13	77	2	3	357	25	5
7 月	569	1	0	0	18	18	8	83	2	6	399	23	11
8 月	597	0	0	0	29	4	3	69	0	1	460	25	6
9 月	464	0	0	0	32	11	2	66	2	4	322	17	8
10 月	554	0	0	0	41	3	5	93	2	5	377	28	0
11 月	501	1	0	0	24	7	4	63	4	1	367	25	5
12 月	614	1	0	0	33	4	3	92	3	3	441	29	5
合計	6,216 (5,741)	4 (5)	0 (0)	0 (0)	334 (311)	77 (75)	48 (46)	898 (849)	22 (17)	38 (21)	4,441 (4,143)	281 (273)	73 (1)
令和 3 年	5,337 (4,993)	4 (3)	0 (0)	0 (0)	331 (320)	53 (51)	33 (32)	821 (790)	14 (8)	23 (13)	3,671 (3,473)	307 (302)	80 (1)

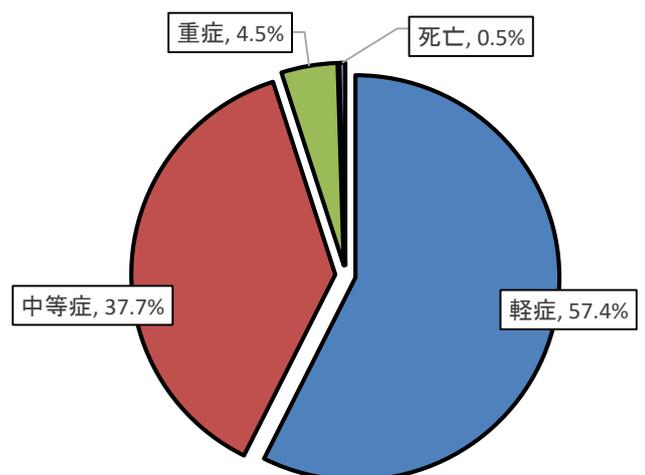
【備考】（ ）内は、救急搬送人員を示す。

2 連区別救急搬送人員

項目	急病	一般	交通	その他 (左記以外)	計
道 泉	146	33	6	8	193
深 川	121	27	5	8	161
古瀬戸	145	30	4	2	181
東 明	102	33	13	5	153
祖母懐	111	19	13	4	147
陶 原	251	49	19	25	344
長 根	318	63	24	17	422
效 範	517	95	30	77	719
水 南	275	49	18	69	411
水 野	271	58	32	35	396
西 陵	211	47	12	19	289
原山台	184	38	4	9	235
萩山台	134	29	1	0	164
八幡台	187	39	2	8	236
品 野	115	32	26	32	205
下品野	223	46	14	11	294
山 口	243	56	31	44	374
本 地	201	35	25	17	278
菱 野	173	30	11	12	226
新 郷	192	37	16	21	266
管区外	23	4	5	15	47
合 計	4,143	849	311	438	5,741

3 傷病程度別搬送人員

程 度 別	搬 送 人 員
死亡	28
重症(3週間以上入院)	256
中等症	2,162
軽症(入院なし)	3,295
合 計	5,741



※端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。

4 年齢区分別搬送人員

事故種別 年齢区分	急病	一般負傷	交通事故	その他 (左記以外)	計
新生児 (構成比:%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	16 (3.7)	16 (0.3)
乳幼児 (構成比:%)	170 (4.1)	48 (5.7)	3 (1.0)	9 (2.1)	230 (4.0)
少年 (構成比:%)	120 (2.9)	34 (4.0)	41 (13.2)	41 (9.4)	236 (4.1)
成人 (構成比:%)	1,035 (25.0)	109 (12.8)	186 (59.8)	158 (36.1)	1,488 (25.9)
高齢者 (構成比:%)	2,818 (68.0)	658 (77.5)	81 (26.0)	214 (48.9)	3,771 (65.7)
合計 (構成比:%)	4,143 (100.0)	849 (100.0)	311 (100.0)	438 (100.0)	5,741 (100.0)

【備考】年齢区分は次による。

- 1 新生児 生後28日未満の者 2 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
 3 少年 満7歳以上満18歳未満の者 4 成人 満18歳以上満65歳未満の者
 5 高齢者 満65歳以上の者

※端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合があります。

5 救命率の推移

区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
瀬戸市	50.0	25.0	66.7	0.0	0.0
愛知県	31.8	32.6	27.2	24.9	
全国	25.1	25.5	23.0	21.3	

【備考】救命率とは、目撃のある突然心肺停止であり、かつ、AEDが使用できる心電図波形(VF・VT)が確認されて救急搬送した患者のうち、1か月後に社会復帰できた者の割合をいう。

令和4年中の愛知県・全国の「救命率」は令和5年1月現在未発表

6 バイスタンダーCPR実施状況

項目	平成30年			令和元年			令和2年			令和3年			令和4年			
	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)													
目撃	あり	57	31	54.4	55	28	50.9	59	28	47.5	46	22	47.8	58	22	37.9
	なし	69	48	69.6	86	47	54.7	51	32	62.7	75	46	61.3	89	58	65.2
合計	126	79	62.7	141	75	53.2	110	60	54.5	121	68	56.2	147	80	54.4	

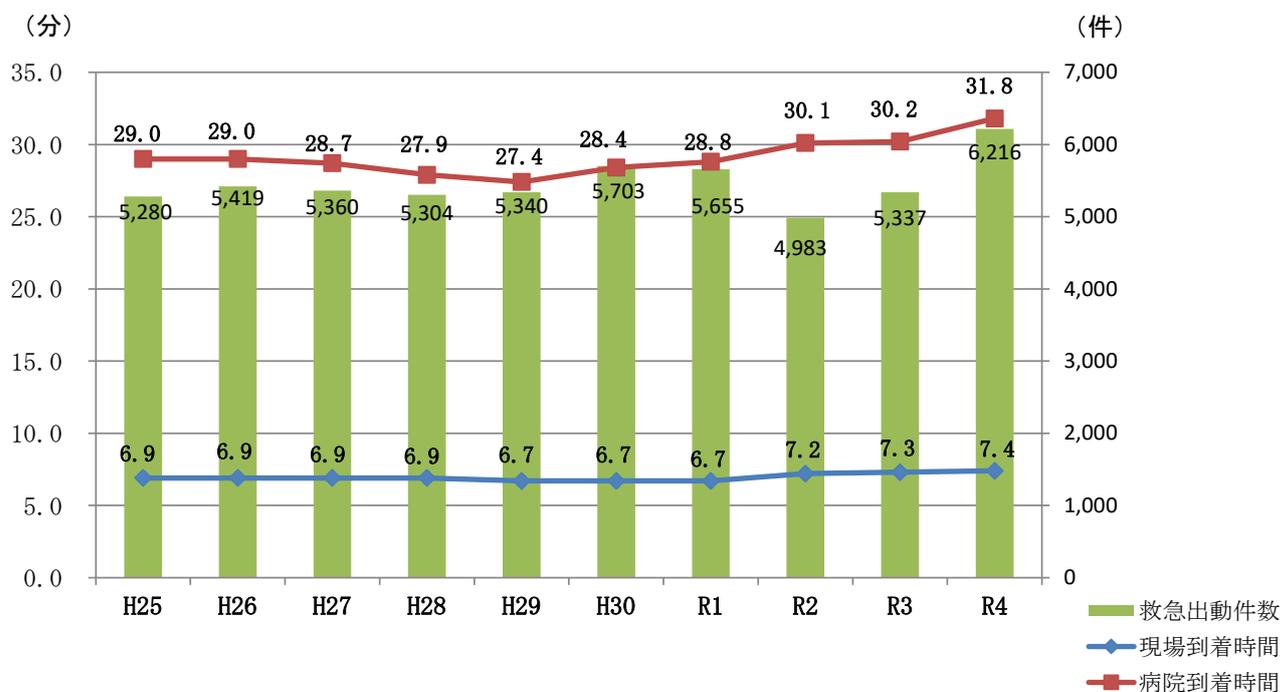
【備考】バイスタンダーCPRとは「救急現場に居合わせた人が行う心肺蘇生法」をいう。

7 過去10年間の救急出動件数の推移

事故種別 年別	計	増前 減率比 (%)	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	転院 搬送	そ の 他
平成25年	5,280	-15.1	7	0	0	480	39	46	650	21	51	3,574	271	141
平成26年	5,419	2.6	5	0	0	472	35	35	785	16	36	3,625	263	147
平成27年	5,360	-1.1	6	0	0	479	48	39	758	22	36	3,601	288	83
平成28年	5,304	-1.0	5	0	0	452	60	44	754	12	43	3,624	267	43
平成29年	5,340	0.7	3	0	0	405	44	58	784	19	41	3,670	276	40
平成30年	5,703	6.8	5	0	0	368	69	52	820	12	34	3,958	304	81
令和元年	5,655	-0.8	10	0	0	380	45	38	810	16	56	3,882	325	93
令和2年	4,983	-11.9	5	0	0	275	37	30	803	16	30	3,484	237	66
令和3年	5,337	7.1	4	0	0	331	53	33	821	14	23	3,671	307	80
令和4年	6,216	16.5	4	0	0	334	77	48	898	22	38	4,441	281	73

8 過去10年間の救急出動件数及び

現場・病院到着平均所要時間の推移



※現場・病院到着時間は、それぞれ覚知からの平均所要時間を示しています。

救助

救助出動件数は92件で、昨年と比べ2件減少しました。

このうち、救助活動を実施した件数は48件でした。

救助した人の数（救助人員）は50人となり、過去最多となりました。

区分別で見ると、「建物等による事故」が63件（68.5%）、「交通事故」が11件（12.0%）、「機械」が1件（1.1%）「その他の事故」が17件（18.5%）という状況でした。

救助出動は、独居の高齢者等に対する安否確認を含む「建物等による事故」が多く発生しており、近年は増加傾向にあります。

1 月別救助発生状況

区分 月別	計	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 等	風 水 害 等	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 事 及 故 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
1月	7 (4)	0	3 (2)	0	0	0	0	4 (2)	0	0	0
2月	3 (2)	0	1 (1)	0	0	0	0	2 (1)	0	0	0
3月	7 (4)	0	2 (1)	0	0	0	0	2 (1)	0	0	3 (2)
4月	10 (5)	0	1 (0)	0	0	0	0	7 (5)	0	0	2 (0)
5月	8 (4)	0	0	0	0	0	0	7 (3)	0	0	1 (1)
6月	9 (5)	0	1 (0)	0	0	0	0	4 (2)	0	0	4 (3)
7月	10 (5)	0	1 (0)	0	0	0	0	9 (5)	0	0	0
8月	7 (3)	0	1 (0)	0	0	0	0	6 (3)	0	0	0
9月	11 (6)	0	0	0	0	0	0	8 (5)	0	0	3 (1)
10月	5 (2)	0	1 (0)	0	0	0	0	4 (2)	0	0	0
11月	5 (2)	0	0	0	0	0	0	3 (0)	0	0	2 (2)
12月	10 (6)	0	0	0	0	0	1 (0)	7 (4)	0	0	2 (2)
合計	92 (48)	0 (0)	11 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	63 (33)	0 (0)	0 (0)	17 (11)
救助人員	50	0	4	0	0	0	0	31	0	0	15
令和3年	94 (49)	1 (1)	9 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	60 (33)	0 (0)	0 (0)	24 (13)
救助人員	46	1	3	0	0	0	0	28	0	0	14

【備考】（ ）内は、救助活動件数を示す。

2 連区別救助出動件数

連区名	計	道泉	深川	古瀬戸	東明	祖母懐	陶原	長根	效範	水南	水野	西陵	原山台	萩山台	八幡台	品野	下品野	山口	本地	菱野	新郷	管外
出動件数	92	2	4	2	3	4	2	4	13	4	2	4	7	4	1	11	8	7	1	4	5	0

3 過去10年間の救助出動・活動件数の推移

年別	区分	計	火災	交通事故	水難事故	自然風水災害等	機械による事故	よ建る物事等に	酸ガス事及び	破裂事故	その他の
平成25年		67 (30)	2 (2)	30 (10)	1 (1)	0	1 (1)	21 (14)	1 (0)	0	11 (2)
平成26年		71 (29)	0	30 (8)	0	0	1 (1)	23 (10)	0	0	17 (10)
平成27年		72 (39)	1 (1)	20 (8)	0	0	3 (2)	34 (20)	3 (2)	0	11 (6)
平成28年		54 (27)	1 (1)	17 (4)	0	0	1 (1)	25 (16)	0	0	10 (5)
平成29年		64 (26)	0	15 (4)	1 (1)	0	1 (0)	31 (14)	1 (0)	0	15 (7)
平成30年		80 (35)	1 (1)	12 (4)	1 (1)	0	2 (1)	51 (21)	1 (1)	0	12 (6)
令和元年		82 (47)	0	20 (8)	0	0	2 (1)	47 (30)	0	0	13 (8)
令和2年		73 (35)	0	10 (5)	2 (0)	0	2 (1)	47 (23)	0	0	12 (6)
令和3年		94 (49)	1 (1)	9 (2)	0	0	0	60 (33)	0	0	24 (13)
令和4年		92 (48)	0 (0)	11 (4)	0	0	1 (0)	63 (33)	0	0	17 (11)

【備考】()内は、救助活動件数を示す。

〔2022年度全国統一防火標語〕

お出かけは
マスク戸締り
火の用心



瀬戸 住宅用火災警報器

検索

住宅用火災警報器の設置は、
条例で義務付けられています。



瀬戸市消防本部

令和4年火災・救急・救助統計

編集 瀬戸市消防本部 予防課
発行 令和5年3月

〒489-0983 瀬戸市苗場町101
TEL 0561-85-0479
FAX 0561-21-6605

U R L ▶ <http://www.city.seto.aichi.jp/bunya/toukei-nenpou/>

E-mail ▶ yobou@city.seto.lg.jp

(統計書中、構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。)